

## 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演事業）」の検証について

## 1. 概要

## (1) 対象事業

平成22年度「子どものための優れた舞台芸術体験事業」の巡回公演事業分

## (2) 実施分野

- ① 音楽（合唱，オーケストラ，音楽劇）
- ② 演劇（演劇，児童劇，ミュージカル）
- ③ 伝統芸能（歌舞伎，演芸，能楽，邦楽，邦舞，人形浄瑠璃）
- ④ 舞踊（バレエ，現代舞踊）

## (3) 平成22年度実施公演数 1, 582公演

## (4) 実施対象者（参加者） 小学校，中学校，特別支援学校

## (5) 主な実施内容

文化芸術団体が学校の体育館において，舞台芸術公演を実施するほか，事前に公演に関するワークショップを行い，児童・生徒を実演に参加させる。

## 2. 検証の内容

## (1) 学校における巡回公演事業の実施状況の把握

- ① 事業実施前後（ワークショップ・本公演）の児童・生徒の変化状況
- ② ワークショップ実施後，本公演までの間における児童・生徒の練習状況
- ③ 本公演実施時の児童生徒の状況把握
- ④ 実施前後の教育上の評価の比較，または傾向

## (2) 文化芸術団体（公演団体）における実施状況の把握

- ① 事業内容やその意図，実施前後の学校の反応
- ② 分野ごとのワークショップや児童・生徒を参加させる手法の分析

## (3) 事業実施に関する課題の分析

- ① 全都道府県及び政令指定都市に対し，実施校募集の周知をしているが，実施希望校数が毎年2,500件程度にとどまり，応募数が増加しないことの要因を検証。
- ② 既実施校からは毎年応募がある反面，全く応募しない学校もあるのが現状であるため，学校に本事業の趣旨を理解してもらう手段の検証。
- ③ 評価材料の開発

## (4) 検証の手法

- ① 前記（3）の課題や平成22年度実施校から提出された「実施状況報告書」をもとに事業の効果や課題を整理する。
- ② 前記（4）①で整理した内容を確認するため，実施校や文化芸術団体（公演団体）に対し，ヒアリングを行い，エピソード等より具体的に情報収集する。
- ③ 前記（4）②でまとめられた内容について，有識者へのヒアリングを行い，評価する。